

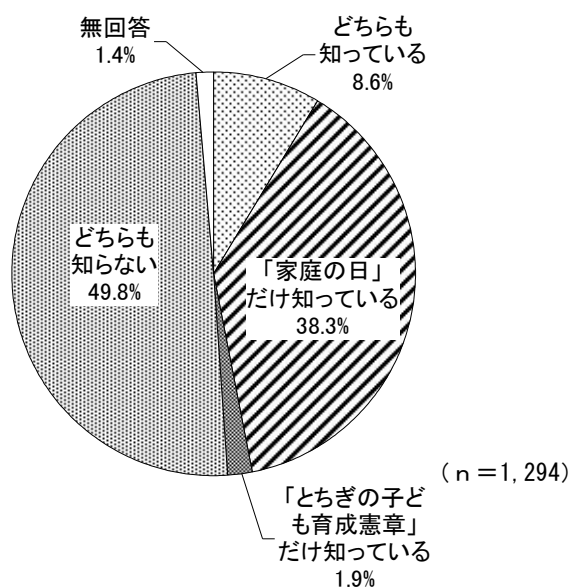
4 青少年の健全育成について

(1) 「家庭の日」「とちぎの子ども育成憲章」の認知度

問11 あなたは、「家庭の日」（毎月第3日曜日）及び「とちぎの子ども育成憲章」を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

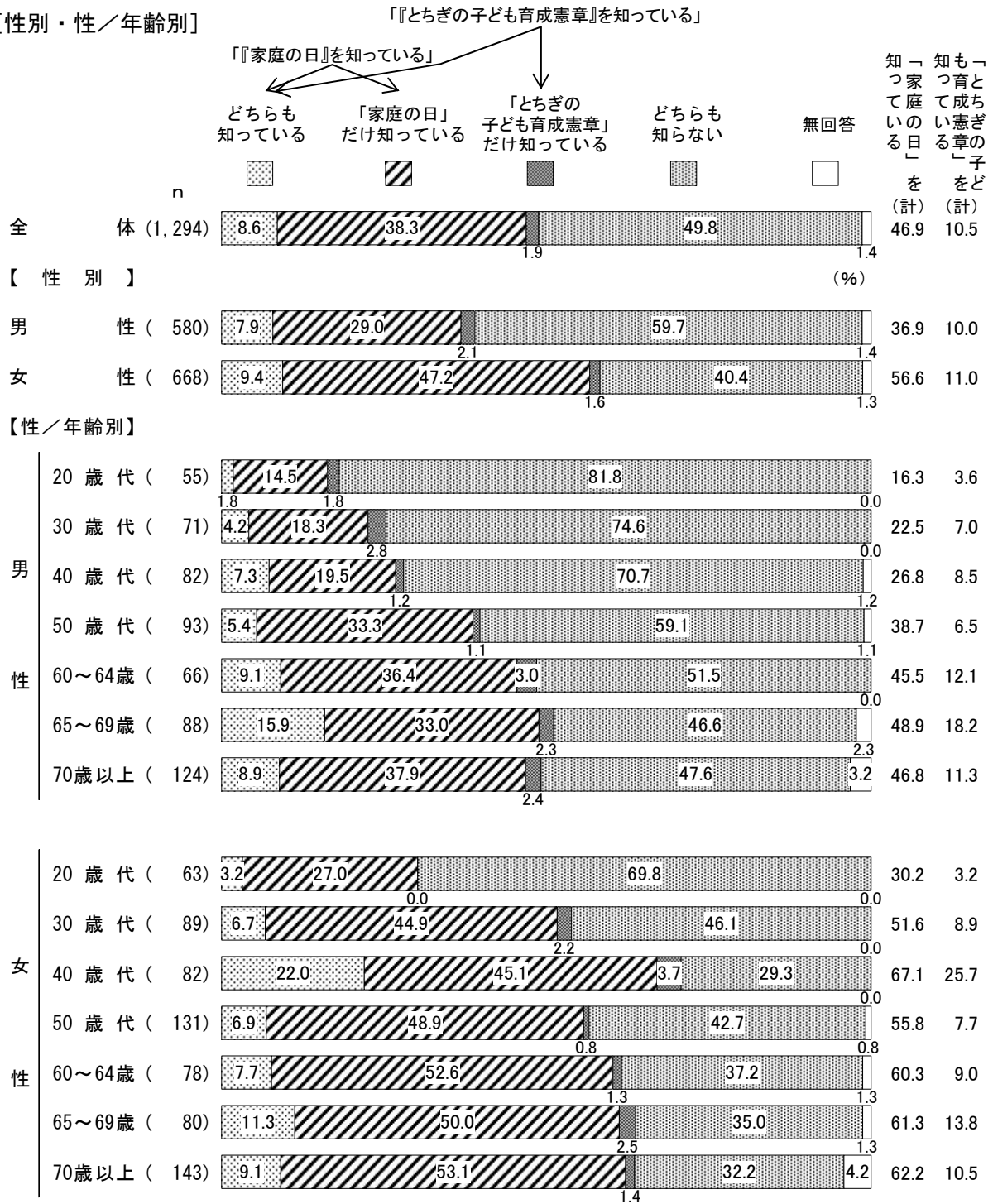
[n=1,294]

1	どちらも知っている	8.6%
2	「家庭の日」だけ知っている	38.3
3	「とちぎの子ども育成憲章」だけ知っている	1.9
4	どちらも知らない	49.8
	(無回答)	1.4



全体で見ると、「どちらも知っている」（8.6%）と「『家庭の日』だけ知っている」（38.3%）の2つを合わせた「『家庭の日』を知っている」（46.9%）は5割近くとなっている。また、「どちらも知っている」（8.6%）と「『とちぎの子ども育成憲章』だけ知っている」（1.9%）の2つを合わせた「『とちぎの子ども育成憲章』を知っている」（10.5%）はほぼ1割となっている。「どちらも知らない」（49.8%）は5割である。

【性別・性／年齢別】



性別で見ると、「『家庭の日』を知っている」では〈女性〉(56.6%)が〈男性〉(36.9%)より19.7ポイント高くなっている。

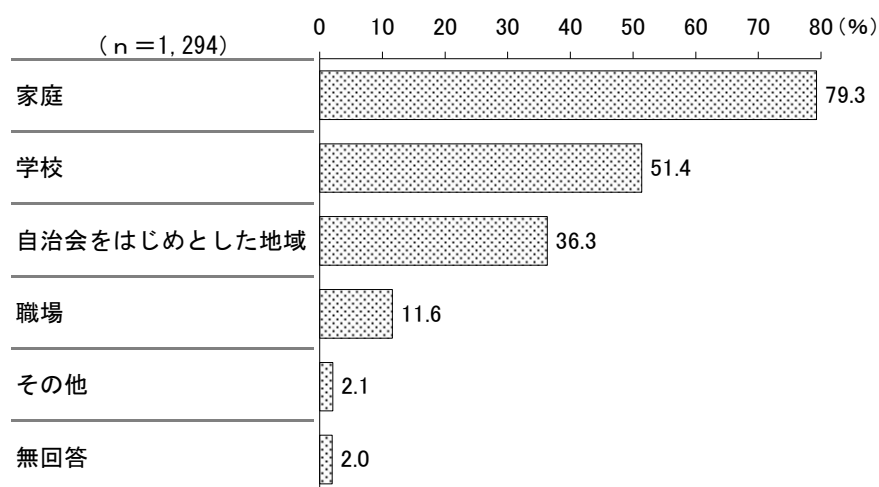
性／年齢別で見ると、「『家庭の日』を知っている」では〈女性40歳代〉が67.1%と高く、「『とちぎの子ども育成憲章』を知っている」では〈女性40歳代〉が25.7%と高くなっている。

(2) 心豊かでたくましい青少年を育成するための働きかけ

問12 「家庭の日」及び「とちぎの子ども育成憲章」の理念を踏まえ、心豊かでたくましい青少年を育成するためには、特にどこに働きかけることが必要だと思いますか。次の中から必要だと思われるものを2つまで選んでください。

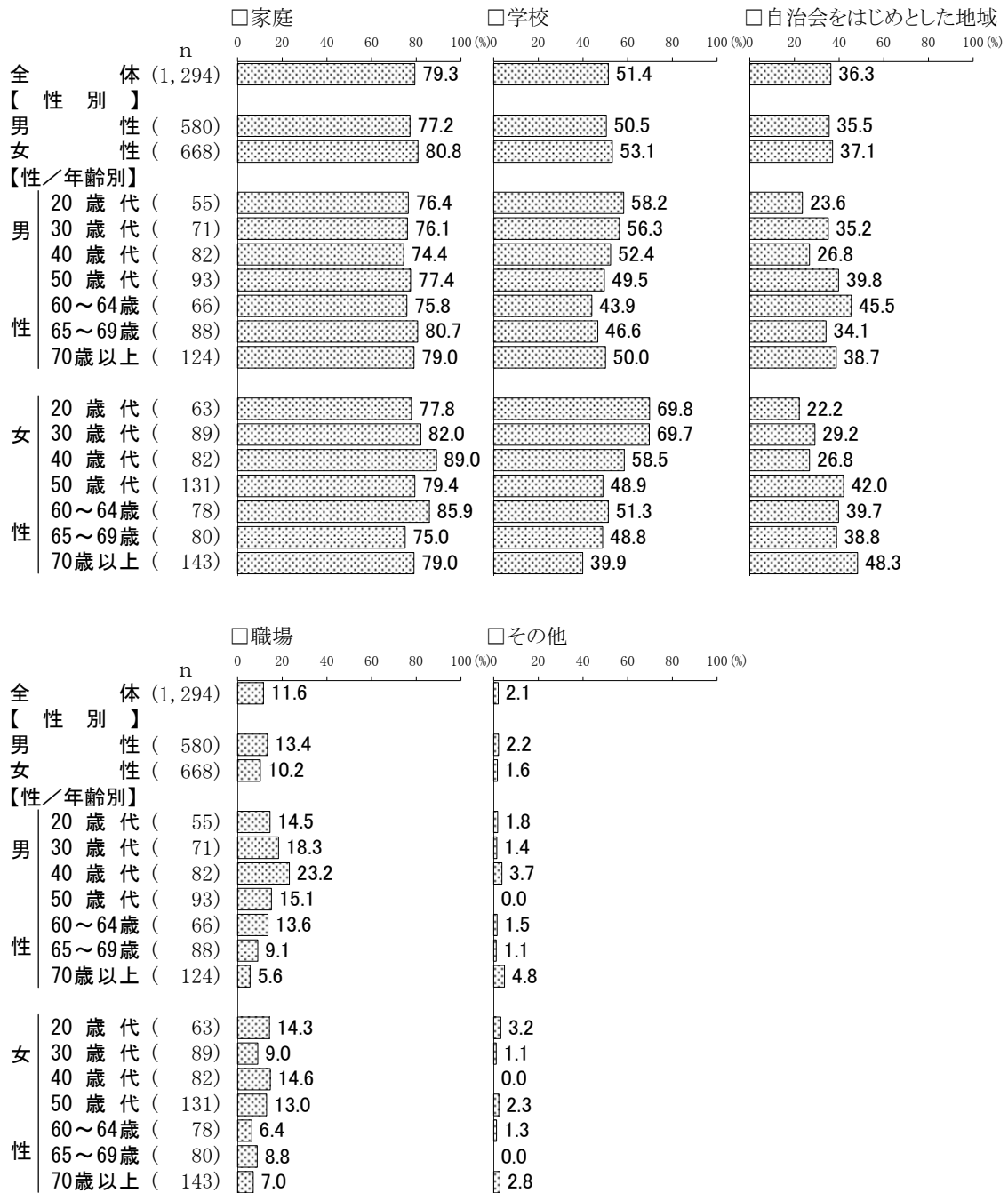
[n=1,294]

1 家庭	79.3%	4 自治会をはじめとした地域	36.3%
2 学校	51.4	5 その他	2.1
3 職場	11.6	(無回答)	2.0



全体で見ると、「家庭」(79.3%)がほぼ8割で最も高く、次いで「学校」(51.4%)、「自治会をはじめとした地域」(36.3%)、「職場」(11.6%)の順となっている。

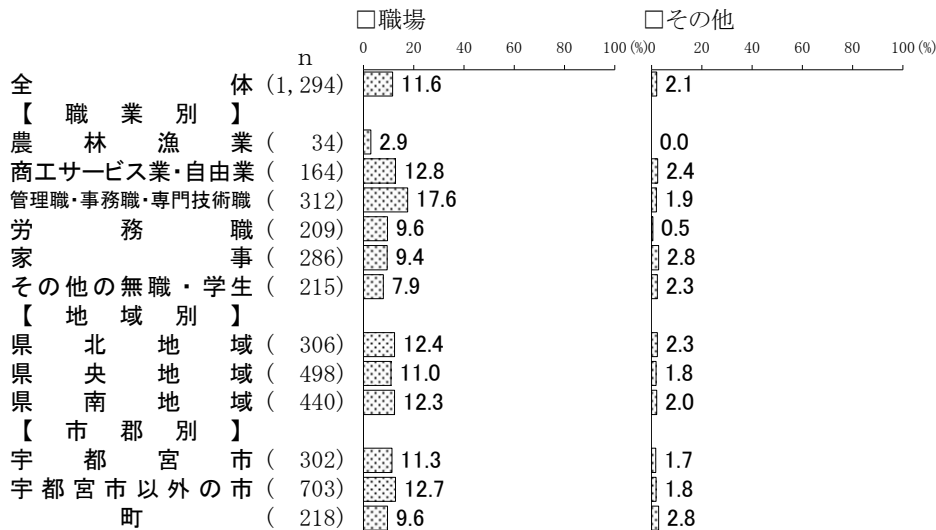
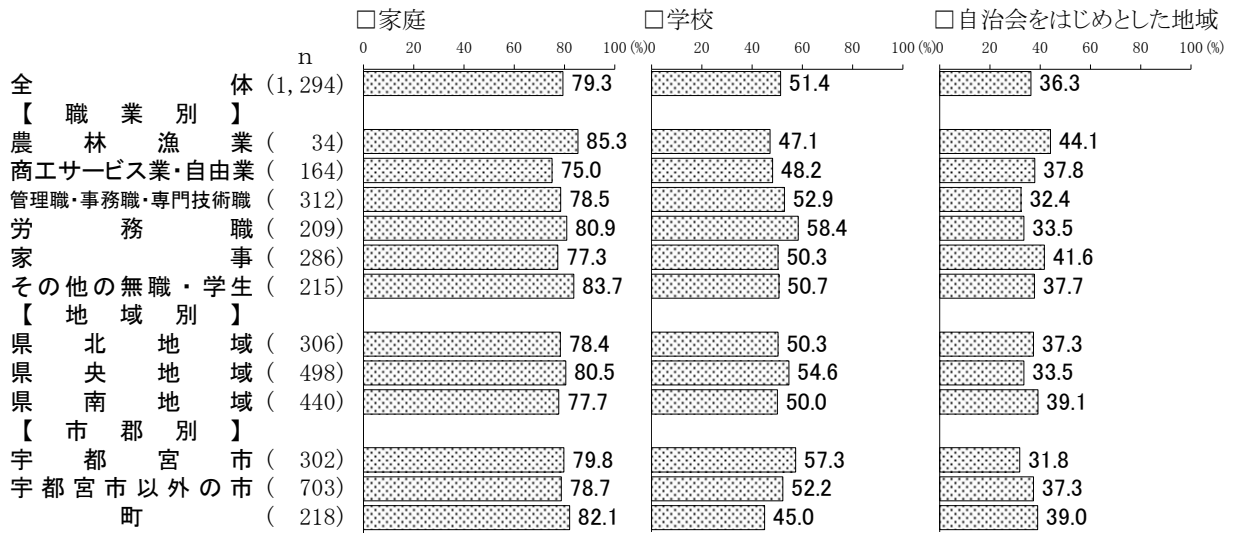
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「学校」では〈女性20歳代〉が69.8%、〈女性30歳代〉が69.7%と高くなっている。「自治会をはじめとした地域」では〈女性70歳以上〉が48.3%、〈男性60～64歳〉が45.5%と高くなっている。「職場」では〈男性40歳代〉が23.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「学校」では〈労務職〉が58.4%と高くなっている。「自治会をはじめとした地域」では〈農林漁業〉が44.1%と他の職業に比べて高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

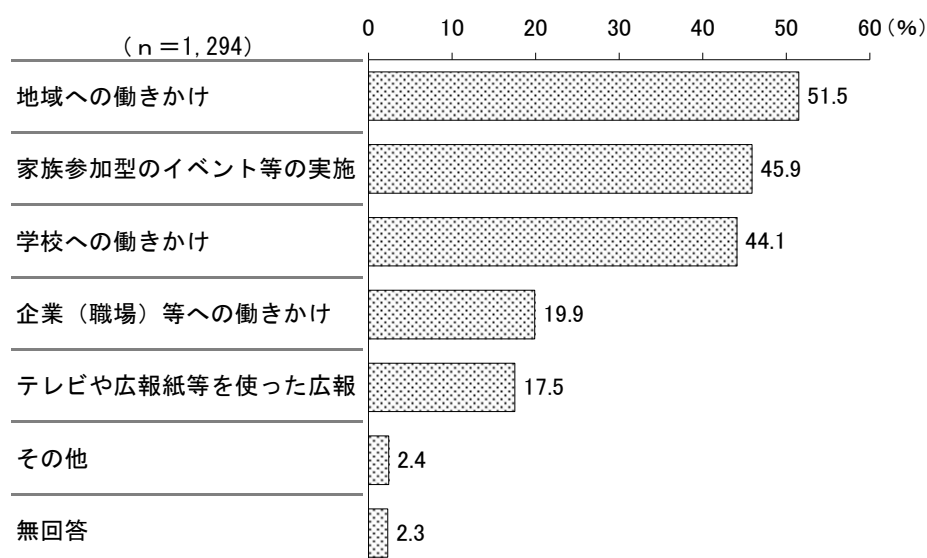
市郡別でみると、「学校」では〈宇都宮市〉が57.3%と高くなっている。

(3) 心豊かでたくましい青少年を育成するための県の取組

問13 「家庭の日」及び「とちぎの子ども育成憲章」の理念を踏まえ、心豊かでたくましい青少年を育成するためには、県はどのような取組をすることが必要だと思いますか。次の中から特に必要だと思われるものを2つまで選んでください。

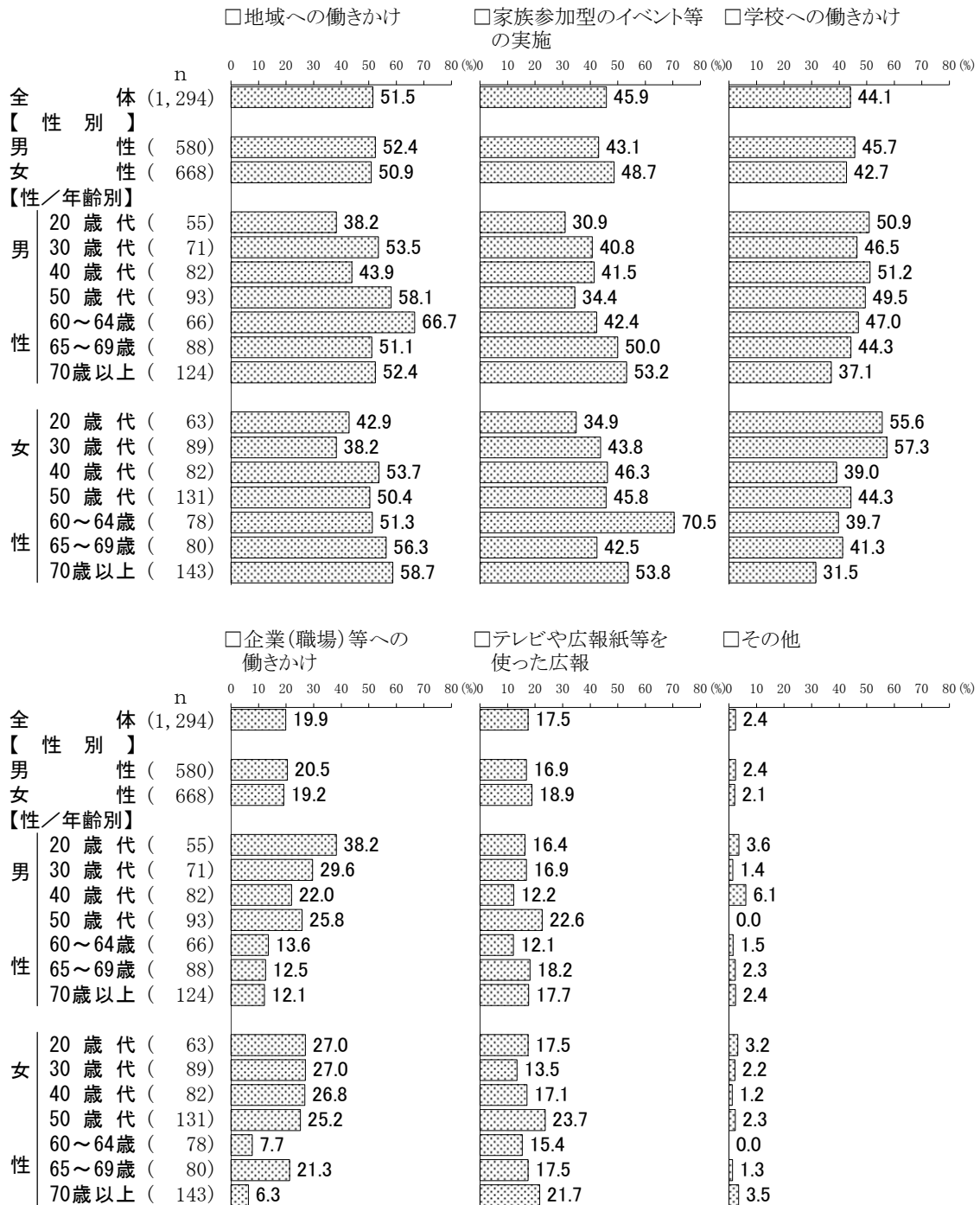
[n=1,294]

1	家族参加型のイベント等の実施	45.9%	4	学校への働きかけ	44.1%
2	テレビや広報紙等を使った広報	17.5	5	地域への働きかけ	51.5
3	企業（職場）等への働きかけ	19.9	6	その他	2.4
				(無回答)	2.3



全体で見ると、「地域への働きかけ」（51.5%）が5割を超えて最も高く、次いで「家族参加型のイベント等の実施」（45.9%）、「学校への働きかけ」（44.1%）、「企業（職場）等への働きかけ」（19.9%）、「テレビや広報紙等を使った広報」（17.5%）の順となっている。

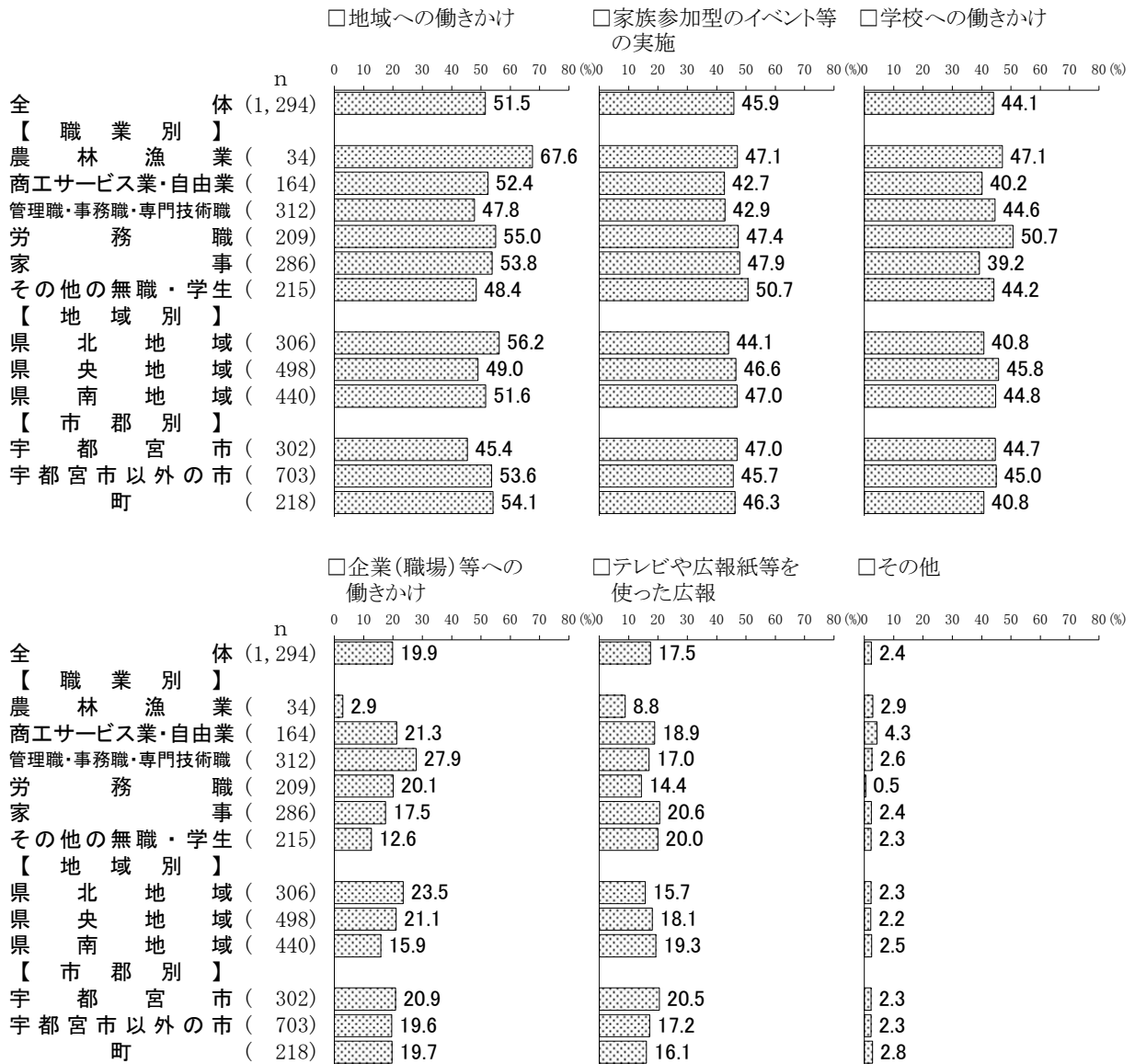
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「家族参加型のイベント等の実施」では〈女性〉(48.7%)が〈男性〉(43.1%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「地域への働きかけ」では〈男性60~64歳〉が66.7%と高く、「家族参加型のイベント等の実施」では〈女性60~64歳〉が70.5%と高くなっている。「学校への働きかけ」では〈女性30歳代〉が57.3%、〈女性20歳代〉が55.6%と高くなっている。「企業(職場)等への働きかけ」では〈男性20歳代〉が38.2%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「地域への働きかけ」では〈農林漁業〉が67.6%と他の職業に比べて高くなっている。「企業(職場)等への働きかけ」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が27.9%と高くなっている。

地域別でみると、「地域への働きかけ」では〈県北地域〉が56.2%と他の地域に比べて高くなっている。

市郡別でみると、「地域への働きかけ」では〈町〉が54.1%、〈宇都宮市以外の市〉が53.6%と、〈宇都宮市〉に比べて高くなっている。

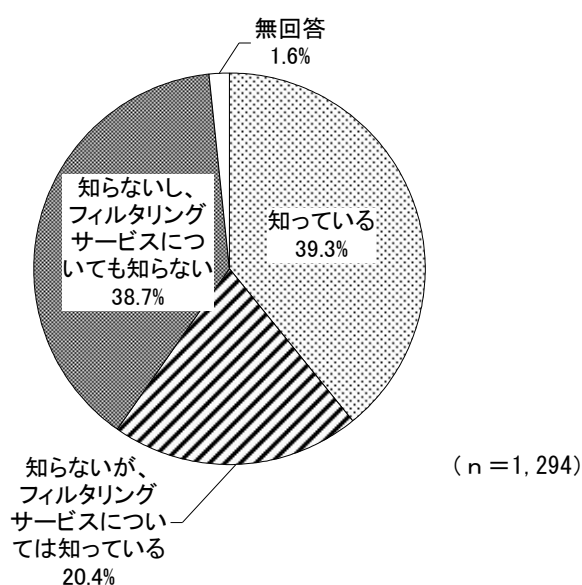
(4) フィルタリングサービスの認知度

問14 あなたは、「青少年インターネット環境整備法」(平成21年4月施行)で携帯電話の使用者が青少年(18歳未満)の場合、携帯電話インターネット接続役務提供事業者(携帯電話事業者)は、原則フィルタリングサービス(※)を提供しなければならないことを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ フィルタリングサービスとは、有害情報などが含まれる特定のサイトへのアクセスを制限するサービスのことです。

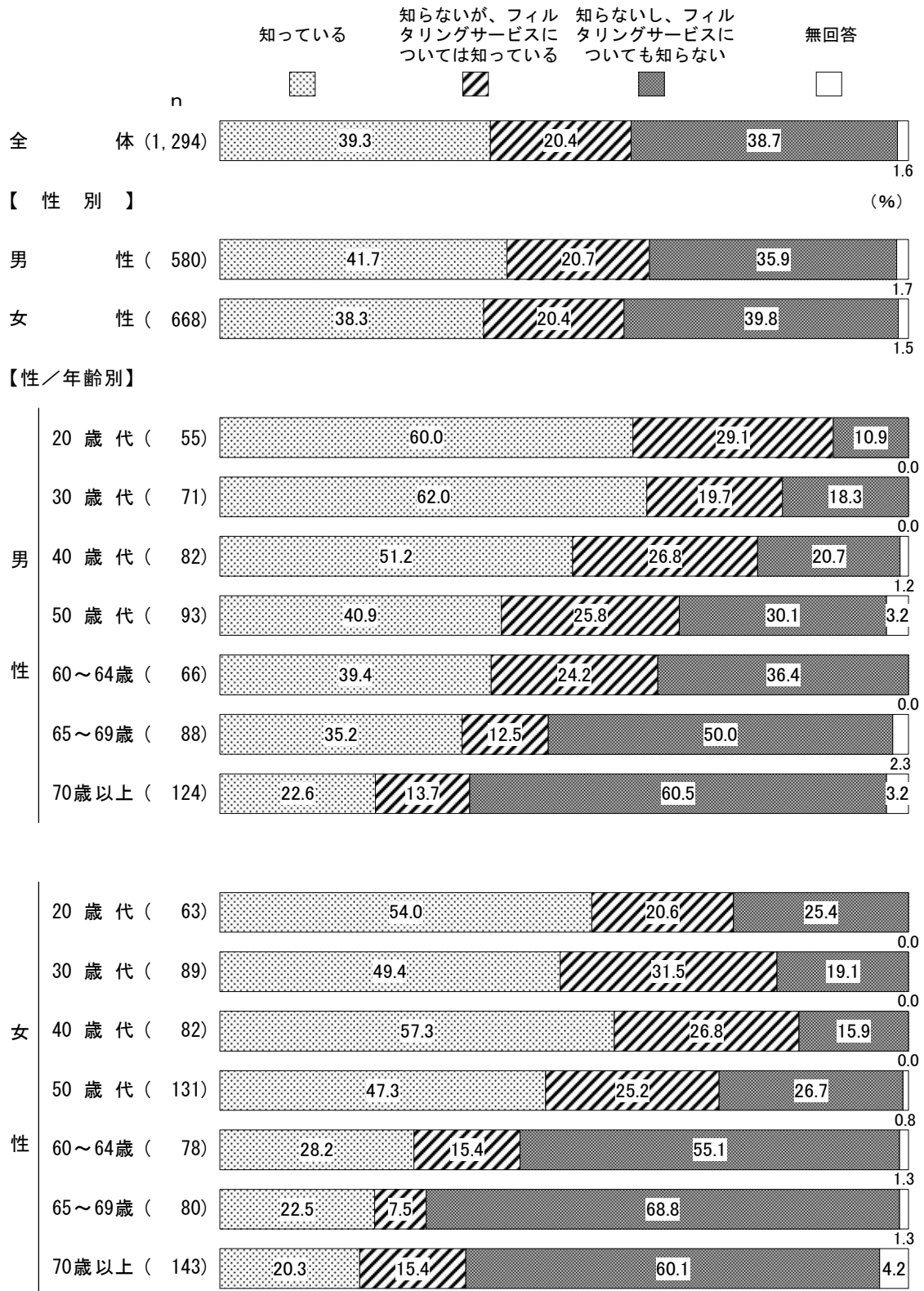
[n=1,294]

1 知っている	39.3%
2 知らないが、フィルタリングサービスについては知っている	20.4
3 知らないし、フィルタリングサービスについても知らない (無回答)	38.7 1.6



全体で見ると、「知っている」(39.3%)はほぼ4割となっている。「知らないが、フィルタリングサービスについては知っている」(20.4%)は2割で、「知らないし、フィルタリングサービスについても知らない」(38.7%)は4割近くである。

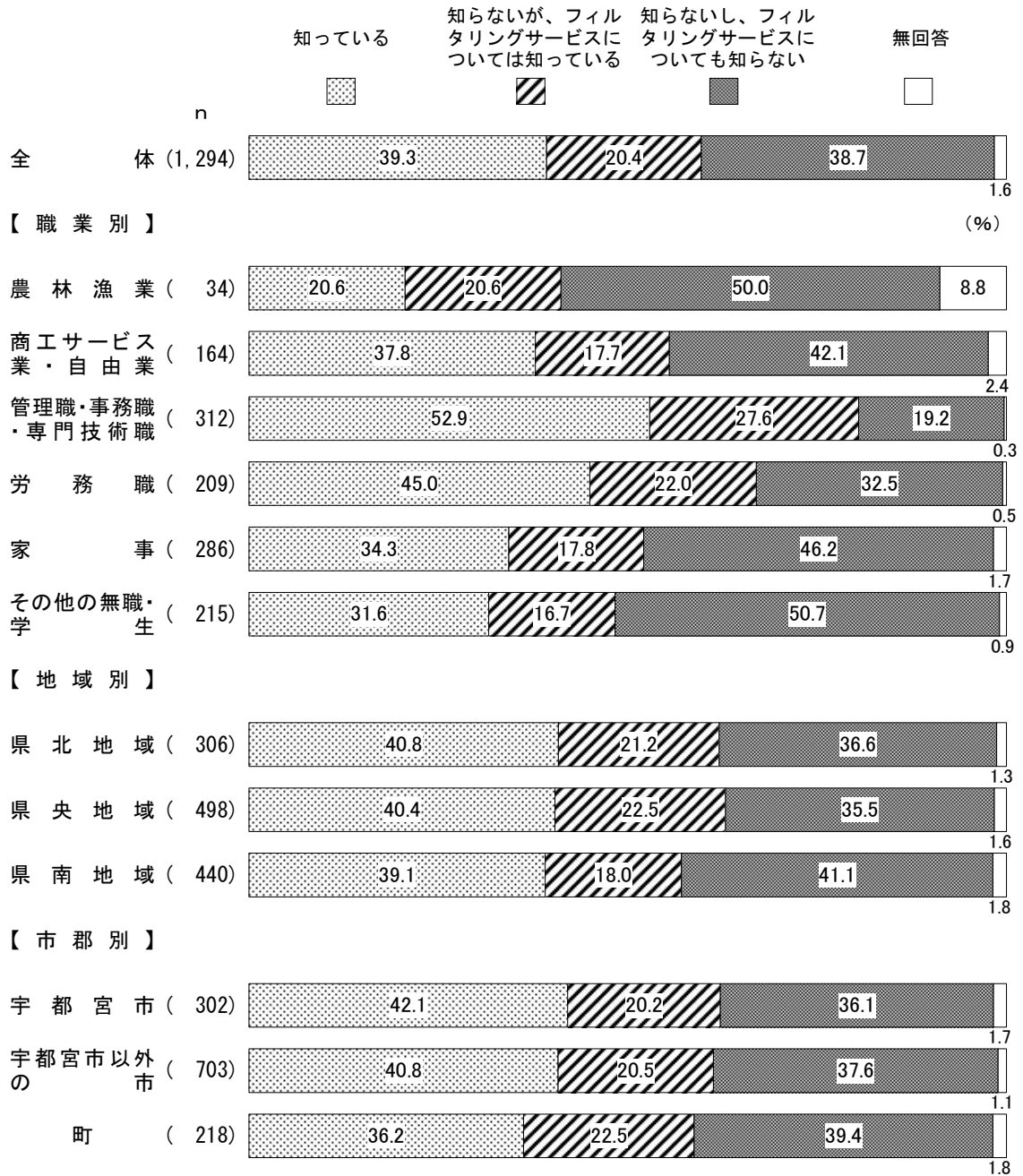
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「知っている」では〈男性〉(41.7%)が〈女性〉(38.3%)より3.4ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「知っている」では〈男性30歳代〉が62.0%、〈男性20歳代〉が60.0%と高くなっている。「知らないし、フィルタリングサービスについても知らない」では〈女性65～69歳〉が68.8%、〈男女とも70歳以上〉がほぼ6割と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「知っている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が52.9%と高くなっている。

地域別でみると、「知らないし、フィルタリングサービスについても知らない」では〈県南地域〉が41.1%と他の地域に比べて高くなっている。

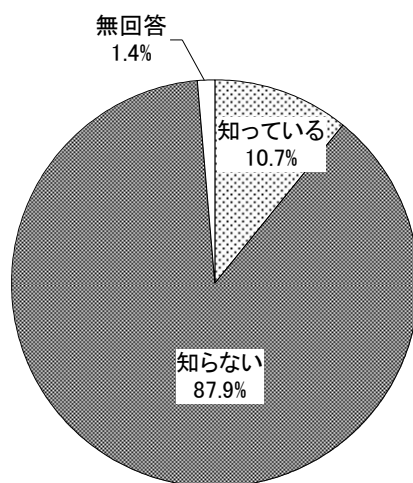
市郡別でみると、「知っている」では〈宇都宮市〉が42.1%、〈宇都宮市以外の市〉が40.8%と、〈町〉に比べて高くなっている。

(5) フィルタリングの解除に保護者の理由書が必要なことの認知度

問15 あなたは、「栃木県青少年健全育成条例の一部改正」(平成24年10月施行)で、保護者は、フィルタリングを解除したい場合、理由書を提出しなければならないことを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,294]

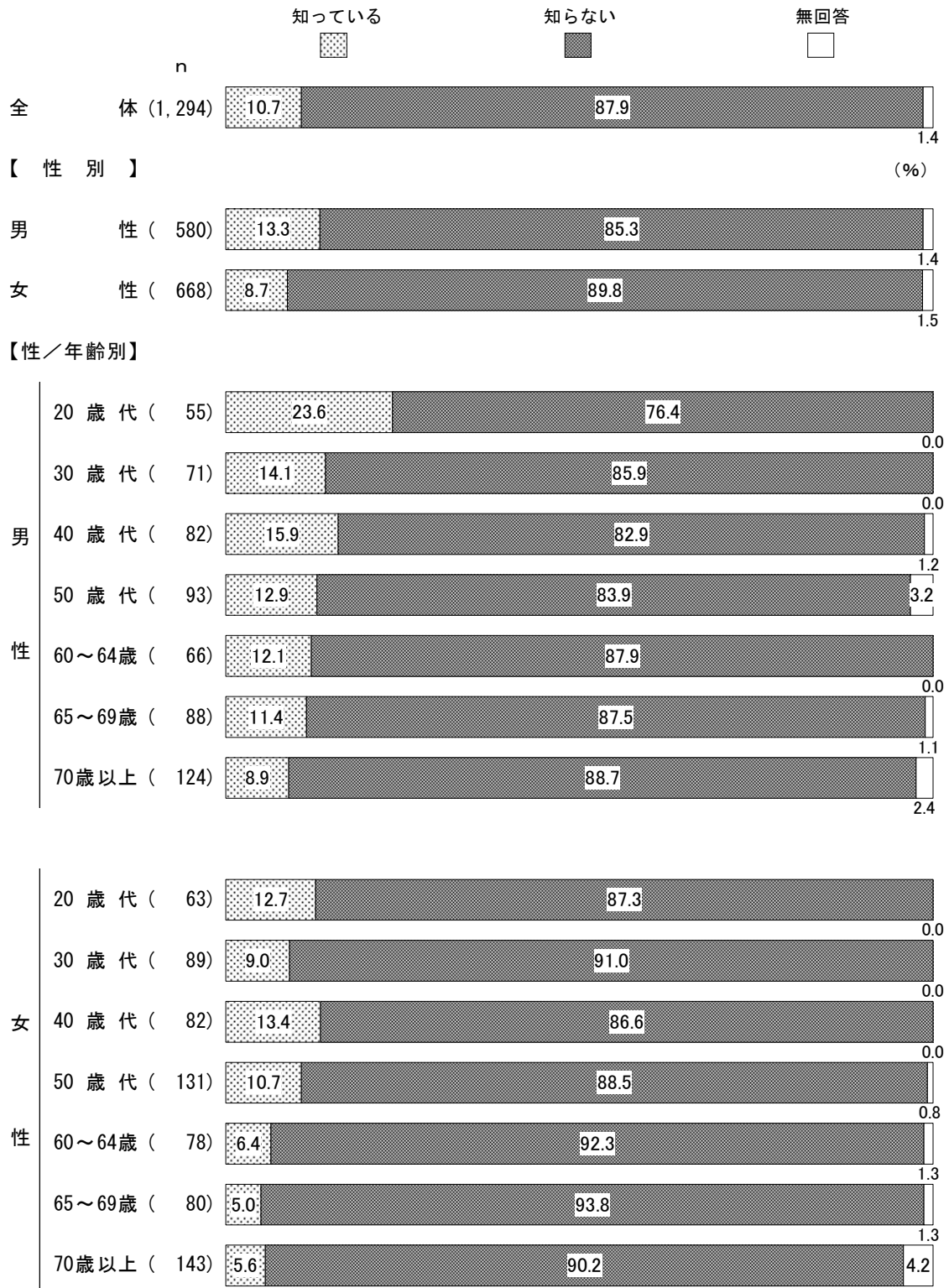
1 知っている	10.7%	2 知らない	87.9%
		(無回答)	1.4



(n=1,294)

全体で見ると、「知っている」(10.7%)はほぼ1割となっている。「知らない」(87.9%)は9割近くとなっている。

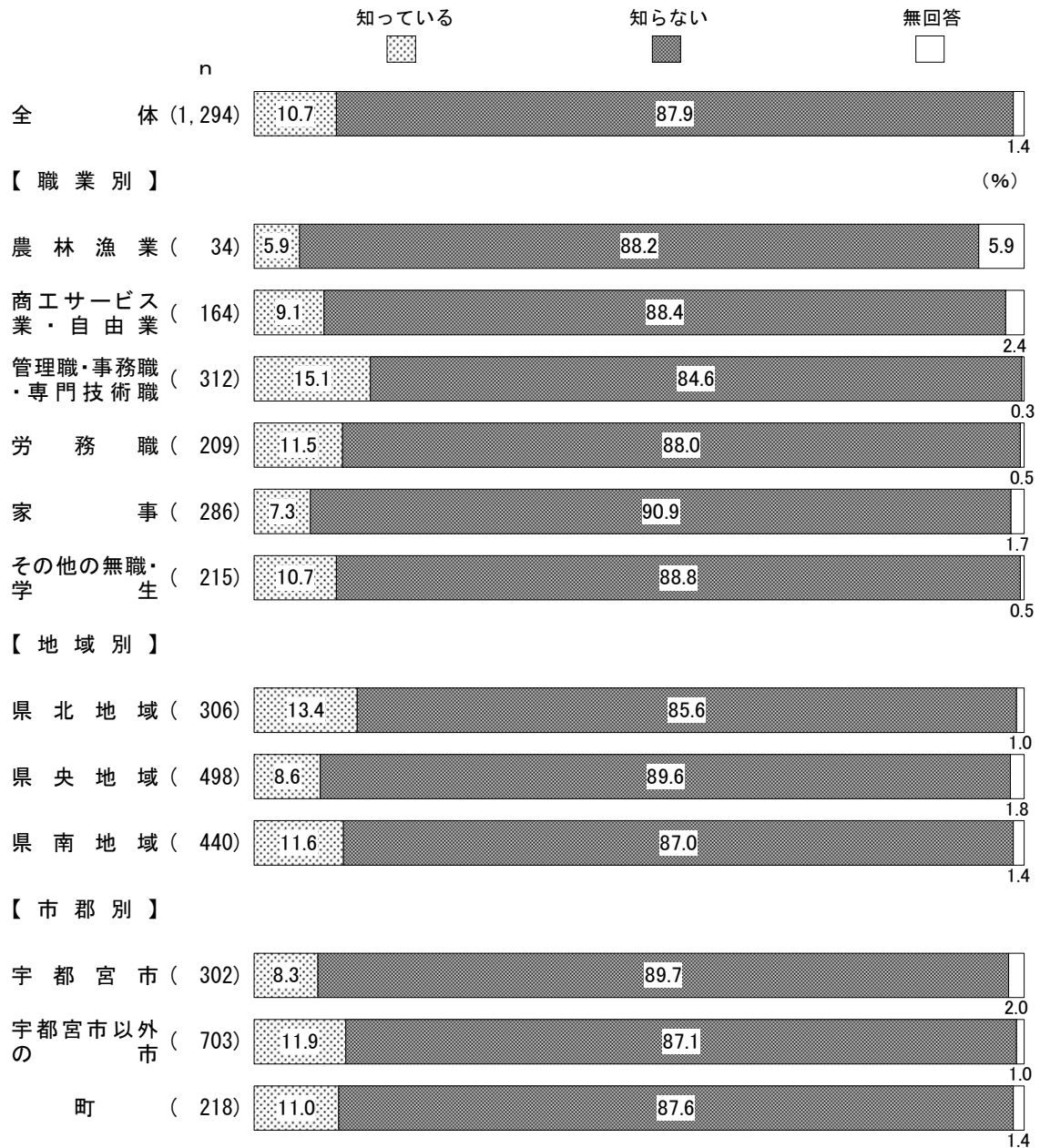
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「知っている」では〈男性〉(13.3%)が〈女性〉(8.7%)より4.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「知っている」では〈男性20歳代〉が23.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「知っている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が15.1%と高くなっている。

地域別でみると、「知っている」では〈県北地域〉が13.4%と他の地域に比べて高くなっている。

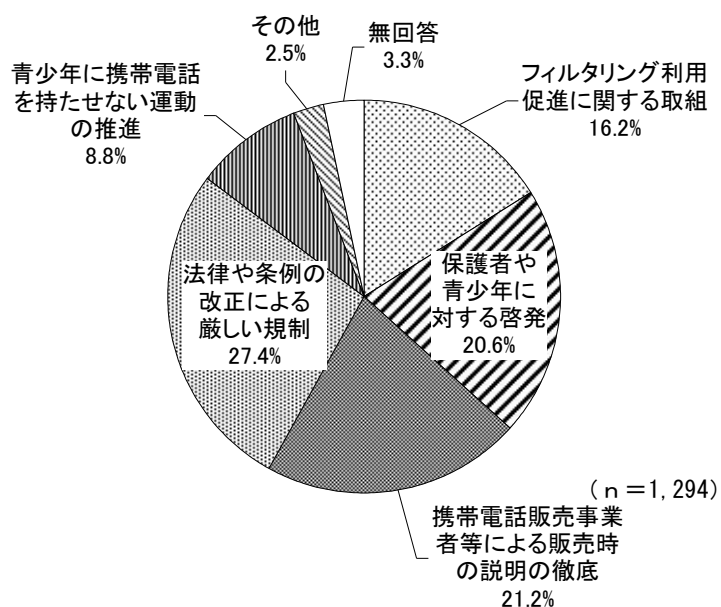
市郡別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(6) 青少年が携帯電話を介したトラブルに巻き込まれないための取組

問16 あなたは、青少年が携帯電話を介したトラブルに巻き込まれないようにするため、特にどのような取組が必要であると思いますか。次の中から1つ選んでください。

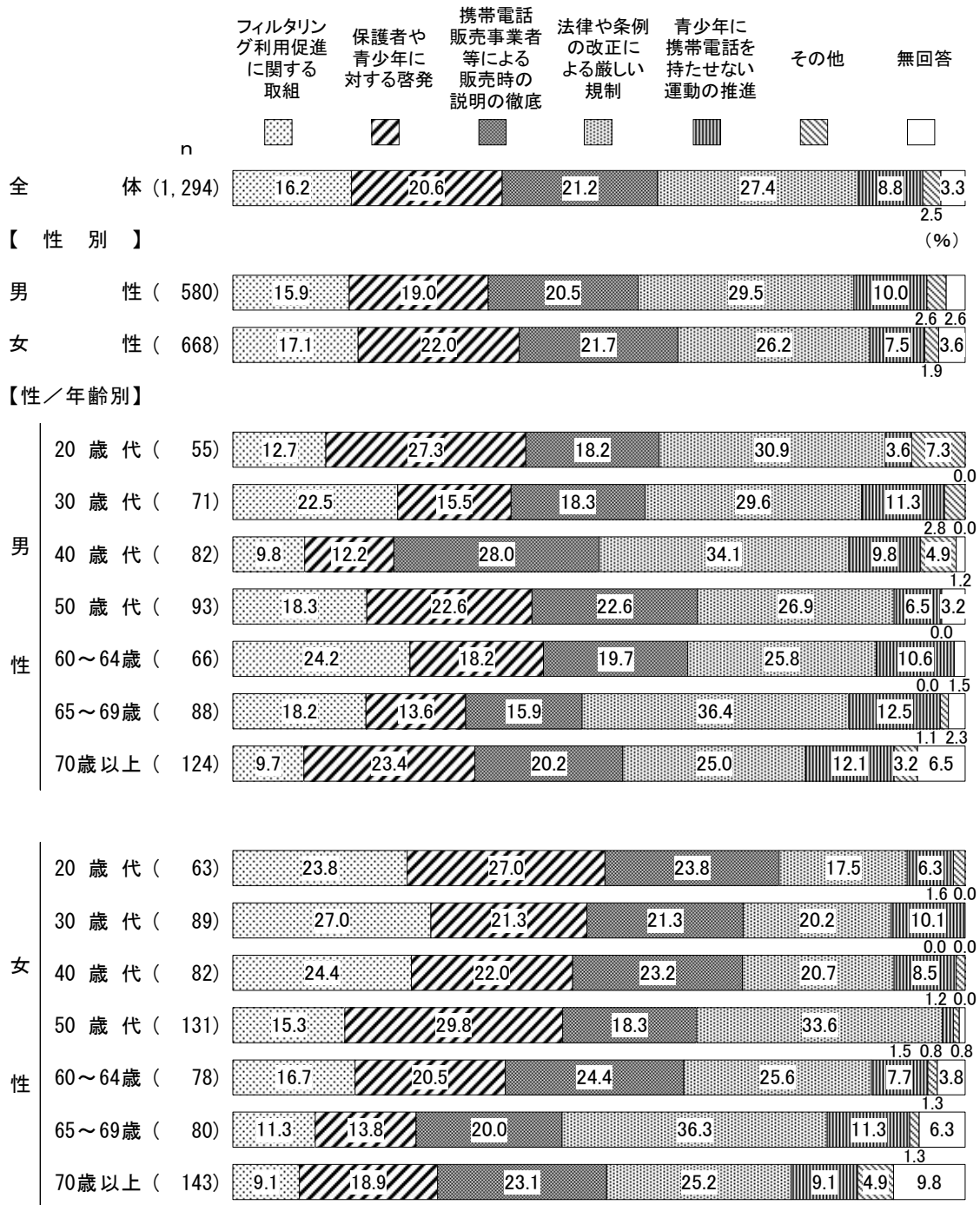
[n=1,294]

1	フィルタリング利用促進に関する取組	16.2%
2	保護者や青少年に対する啓発	20.6
3	携帯電話販売事業者等による販売時の説明の徹底	21.2
4	法律や条例の改正による厳しい規制	27.4
5	青少年に携帯電話を持たせない運動の推進	8.8
6	その他	2.5
	(無回答)	3.3



全体で見ると、「法律や条例の改正による厳しい規制」(27.4%)が3割近くで最も高く、次いで「携帯電話販売事業者等による販売時の説明の徹底」(21.2%)、「保護者や青少年に対する啓発」(20.6%)、「フィルタリング利用促進に関する取組」(16.2%)、「青少年に携帯電話を持たせない運動の推進」(8.8%)の順となっている。

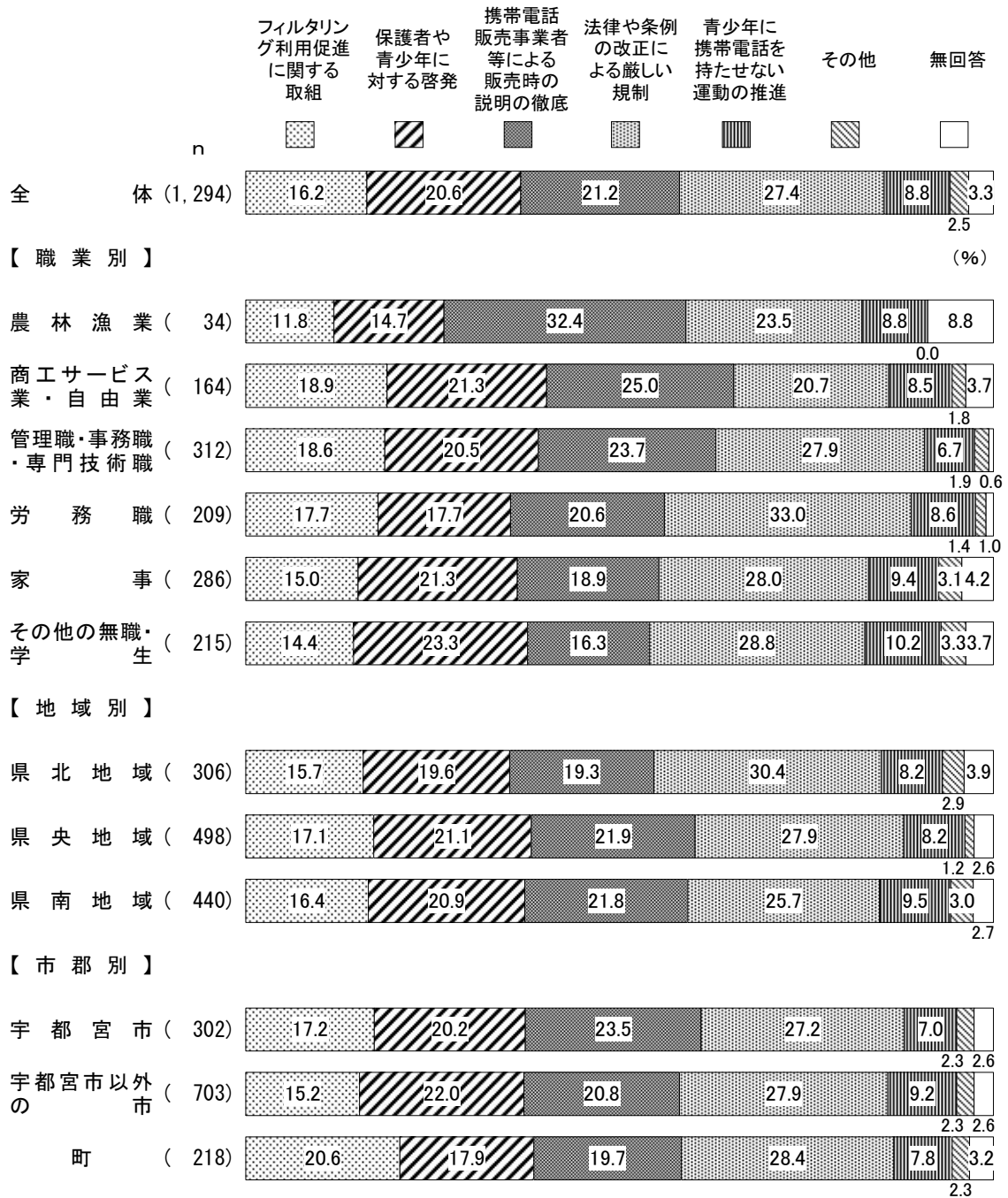
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「法律や条例の改正による厳しい規制」では〈男性〉(29.5%)が〈女性〉(26.2%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「法律や条例の改正による厳しい規制」では〈男性65～69歳〉が36.4%、〈女性65～69歳〉が36.3%と他の年代に比べて高くなっている。「携帯電話販売事業者等による販売時の説明の徹底」では〈男性40歳代〉が28.0%と他の年代に比べて高くなっている。「保護者や青少年に対する啓発」では〈女性50歳代〉が29.8%、〈男性20歳代〉が27.3%、〈女性20歳代〉が27.0%と高くなっている。「フィルタリング利用促進に関する取組」では〈女性30歳代〉が27.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「法律や条例の改正による厳しい規制」では〈労務職〉が33.0%、「携帯電話販売事業者等による販売時の説明の徹底」では〈農林漁業〉が32.4%と、他の職業に比べて高くなっている。

地域別でみると、「法律や条例の改正による厳しい規制」では〈県北地域〉が30.4%と他の地域に比べて高くなっている。

市郡別でみると、「フィルタリング利用促進に関する取組」では〈町〉が20.6%と〈宇都宮市〉や〈宇都宮市以外の市〉と比べて高くなっている。